

湘南ビジョン研究所 事業報告書（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

1 事業の成果

平成28年度に湘南ビジョン研究所では、湘南地域の持続可能な発展を目指し、環境系事業及び湘南ソーシャル系大学設立事業を実施した。

環境系事業においては、海岸に与えられる国際環境認証「ブルーフラッグ」の日本初の取得を目標に掲げ、環境活動を続けてきた。その結果、当団体協力のもと、平成28年度に鎌倉市がFEE（*）に対し、由比ガ浜海水浴場における「ブルーフラッグ」認証を申請し、同年4月13日にFEE国際審査委員会にてアジア初の認証を受けることができた。

なお、鎌倉市は平成29年4月に認証更新が内定し、当団体は鎌倉市から引き続き環境教育等への協力を要請されている。

平成28年度から茅ヶ崎市に対し「ブルーフラッグ」取得へ向けた普及啓発活動をスタートさせ、平成30年度の取得を目標に平成29年度も引き続き活動を進める。

湘南ソーシャル系大学設立事業においては、湘南地域の多様な市民や団体、企業、行政が集まる「まちづくりプラットフォーム」の形成を目指し、湘南ソーシャル系大学の設立を目標に掲げ、平成28年9月3日に湘南ソーシャル系大学設立準備委員会を立ち上げた。

湘南ソーシャル系大学は、『まちづくりは、人づくり』という基本理念のもと、湘南のまち全体をキャンパスと見立て、『地域とつながる新しい学びの場』を提供することを通じて、あらゆる世代の人々がそれぞれの個性や能力を発揮し、自分らしく輝いた人生を送るきっかけをつくる市民大学である。

平成28年度は、湘南ソーシャル系大学設立準備委員会の全体会合を10回開催し、大学設立に向けた準備を進めた。また、湘南地域の各団体からの依頼により大学設立構想についてプレゼンを実施し、設立準備委員会の活動を広く湘南地域の企業、団体、住民に周知した。

その結果、40名以上の委員や多数の外部協力者が集まり、大学の事業計画づくりを推進することができ、当事業によって湘南ビジョン研究所の認知度も高めることができた。

*FEEとは、環境教育プログラムを通じて持続可能な発展を目指す国際団体で、世界68の国と地域に加盟組織のある世界最大規模の環境NGOの一つ。<http://www.fee.global>

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

- ①湘南地域の活性化に関するビジョン策定事業（今年度事業実施なし）
- ②湘南地域の活性化に関するイベント事業

ア 鎌倉環境教育

鎌倉市由比ガ浜海水浴場のブルーフラッグ認証取得に伴い、次のとおり環境教育の実施及びコーディネート等に協力した。



事業名	概要	日程・規模	会場
ライフセーバーと遊ぼう	海の安全教室開催 鎌倉ライフガード	8月10日、11日 各20人	由比ガ浜海岸
※鎌倉でビーチコーミングをしよう	由比ガ浜海岸での ビーチコーミング	8月3日、17日 各20人（17日荒天中止）	由比ガ浜海岸
みんなでビーチコーミング	由比ガ浜海岸～材木座海岸ビーチコーミング	9月10日 25人	材木座海岸
※鎌倉の海、そして相模湾など深海域の謎 (中学生向け総合学習)	地域及び地球規模の深海域海洋環境の現状を学ぶ	9月15日 180人	横浜国立大付属 鎌倉中学校
ビーチヨガ	ビーチクリーンと ビーチヨガ体験	8月20日	由比ガ浜海岸

(事業名の※は主催（鎌倉市共催）無印は当法人がコーディネート、実施協力)

【受益対象者】

鎌倉市を中心とする、湘南地域、横浜地域住民、海岸を訪れる観光客など海岸の環境に関心がある方等

【従事者人員】 6人

【支出額】 108,003円（源泉徴収税等含む）

【開催日・参加人数】 上記一覧表のとおり

【開催場所】 上記一覧表のとおり



時空を超えた海からの贈り物とは!?

「浜辺で宝さがし～親子で楽しむビーチコーミング～」

山比が浜では、きれいな貝殻や海産物ももちろん、さまざまな海の生き物もたくさん。そして昔々の時代から今の時代までの「島の文化」が感じられるかもしれない。夏休みの平日、大きく浜が引いた山比が浜海岸で、宝物を探るの心ときどきいかがですか?

講師：海防大 山比海岸 主催：鎌倉市、NPO法人湘南ビーチユース

～日時～
第1回 2016/8/3 (水) 10:00～11:30
第2回 2016/8/17 (水) 10:00～11:30

～場所～
由比ヶ浜海岸 板の下(漁港エリア)

～募集人数～
親子20組 ともは小学生対象

～募集期間～
7/15(金)～募集人数に達するまで(先着順)

～応募方法～
下記メールアドレスへ必要事項を記入してご応募ください。

メールアドレス: blueflag.edu@gmail.com

必要事項: 参加したい日時(第1回または第2回)ビーチコースター、住所、電話番号、氏名(親子2人)、子どもの学年

※一回につき子どもの人数が5人以上の場合はお申し込みはできません。

※第1回・第2回は、申し込みの締め切りは、当日の朝までお受けいたします。

問い合わせ: 鎌倉市 TEL: 070-5584-5421 MAIL: blueflag.edu@gmail.com

無料





イ 初夏の湘南海岸・浜歩き～未来に残したい湘南海岸を考える～

初夏の日差し、海風もほどよく吹く海辺で、波打ち際や砂浜、海岸林の生き物観察をし、海岸の「魅力と役割」を再発見しながら、今、海の現状を再認識し、私たちが「未来に残したい湘南海岸」を考えた。ビーチクリーン、ビーチコーミングも実施した。

【受益対象者】

湘南地域および周辺地域の住民

【従事者人員】 2人

【支出額】 2,000円

【開催日・参加人数】

5月29日 6人

10月16日（人数少なく中止）

【開催場所】

引地川・鵜沼橋集合 茅ヶ崎ヘッドランドまで（距離 約5キロ）



ウ 湘南ソーシャル系大学事業

(ウー1) 設立準備委員会の発足

湘南ソーシャル系大学の設立準備メンバーを募集したところ約40人の応募があり、平成28年9月3日、湘南ソーシャル系大学設立準備委員会を発足させた。委員会では全体会合を10回開催し、大学設立に向けた準備を進めた。



【開催日】

- 7月24日 【第1回説明会】(参加者約30名)
- 8月3日 【第2回説明会】(参加者約30名)
- 8月18日 【第3回説明会】(参加者約30名)
- 9月3日 【第1回委員会】(参加者約30名)
- 9月17日 【第2回委員会】(参加者約30名)
- 9月30日 【第3回委員会】(参加者約30名)
- 10月12日 【第4回委員会】(参加者約30名)
- 10月23日 【第5回委員会】(参加者約30名)
- 11月11日 【第6回委員会】(参加者約30名)
- 11月26日 【第7回委員会】(参加者約30名)
- 12月10日 【第8回委員会】(参加者約30名)
- 12月26日 【第9回委員会】(参加者約30名)
- 2月5日 【第10回委員会】(参加者約30名)

【開催場所】

藤沢市市民活動推進センター他

【受益対象者】

湘南地域住民、当大学に関心がある方 等



【従事者人員】 10人

【支出額】 136,370円

(ウー2) フォーラム等への出演

各団体からの依頼により湘南ソーシャル系大学の設立構想についてフォーラム等でプレゼンを実施した。

【開催内容・開催日・開催場所】

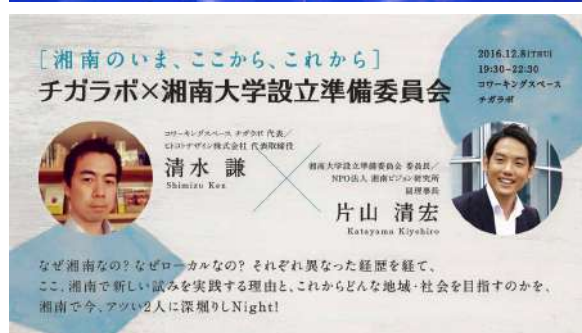
- ・「湘南4LOM合同懇談会（青年会議所（藤沢・茅ヶ崎・寒川・平塚））」にて湘南ソーシャル系大学設立構想について講演を実施（平成28年10月19日、グランドホテル神奈中平塚）。
- ・「江ノリニック・ミーティング vol.3」にて湘南ソーシャル系大学設立構想についてプレゼンを実施（平成28年11月19日、江ノ島ヨットハーバー）。
- ・「湘南事業家ビジネス交流フェア2016」に設立準備委員会として出展。「ブース賞」を受賞（平成28年11月18日・19日、藤沢商工会議所6階多目的ホール）。
- ・「チガラボ×湘南大学設立準備委員会イベント」にて湘南ソーシャル系大学設立構想についてトークライブを実施（平成28年12月8日、コワーキングスペース「チガラボ」）。
- ・「茅ヶ崎市倫理法人会経営者モーニングセミナー」にて湘南ソーシャル系大学設立構想について講演を実施（平成28年12月29日、ホテルサンライフガーデン）。
- ・「藤沢市倫理法人会経営者モーニングセミナー」にて湘南ソーシャル系大学設立構想について講演を実施（平成29年3月18日、㈱湘洋）。

【受益対象者】

湘南地域住民、当大学に関心がある方等

【従事者人員】 10人

【支出額】 30,932円



(ウー3) プロモーション活動

湘南ソーシャル系大学の協力者を増やすため、設立準備委員会の活動を広く湘南地域の企業、団体、住民に周知した。

【開催内容・開催日・開催場所】

- ・湘南ソーシャル系大学のロゴ作成 (平成 28 年 12 月)
- ・ラジオ「7.7MHz FM チャッピー」出演 (平成 28 年 4 月 28 日、7.7MHz FM スタジオ)
- ・ラジオ「J-wave WONDER VISION」出演 (平成 28 年 10 月 30 日、J-wave スタジオ)
- ・ラジオ「レディオ湘南」出演 (平成 28 年 12 月 26 日、レディオ湘南スタジオ)
- ・「タウンニュース藤沢」掲載 (平成 28 年 9 月 9 日発行)
- ・「VOLUNTEERS 秋冬号」掲載 (平成 28 年 11 月 11 日発行)

【受益対象者】

湘南地域住民、当大学に関心がある方 等

【従事者人員】 10 人

【支出額】 109,910 円

③ 湘南地域の活性化に関する情報発信事業

広報・発信力強化プロジェクトとして、横断的なチームを立ち上げ、広報・発信力強化、企業・個人からスポンサーシップの獲得などに取り組んだ。今期は主として、スポンサーシップの獲得を主眼に、広報媒体の企画、簡易版パンフレットの制作を行った。

【受益対象者】

湘南地域企業・個人等

【従事者人員】 10 人

【支出額】 14,678 円

④ 湘南地域の活性化に関する調査研究・コンサルティング事業

(今年度事業実施なし)

⑤ 湘南地域の海岸に関する国際認証基準の取得及び普及促進事業

海岸に与えられる国際環境認証「ブルーフラッグ」の日本初の取得を目標に掲げ、環境活



動を続けてきた。その結果、当団体協力のもと、平成28年度に鎌倉市がFEE(*)に対し由比ガ浜海水浴場における「ブルーフラッグ」認証を申請し、同年4月13日にFEE国際審査委員会にてアジア初の認証を受けることができた。

なお、鎌倉市は平成29年4月に認証更新が内定し、当団体は鎌倉市から引き続き環境教育等への協力を要請されている。

平成28年度から茅ヶ崎市に対し「ブルーフラッグ」取得へ向けた普及啓発活動をスタートさせ、平成30年度の取得を目標に平成29年度も引き続き活動を進める。

【主なアウトリーチ活動、プロモーション活動】

・〔江ノリンピック・ミーティング Vol.2〕(江ノリンピックムーブメント主催)

江ノリンピックムーブメントは、2020年の東京オリンピックに向けて地域の市民が自ら関わって楽しみ、さらに終了後に残る良い遺産を残したいという思いで活動している団体。当団体が主催するイベントで、湘南ビジョン研究所の「湘南都市構想2022」の海に関するプロジェクトについてスピーカーとしてプレゼンを行った。ファシリテーターとしても協力。

(片山副理事長、平成28年4月10日)

・〔江ノ島オリンピックで環境保全推進！！～ロンドンオリンピックに学ぶ～〕(湘南クリーンエイド倶楽部主催)

ブルーフラッグの取得の意義と湘南ビジョン研究所の活動を紹介した。

(富山理事、平成28年4月23日)

・〔鎌倉の海の未来語る～ブルーフラッグの可能性と由比ガ浜海岸の未来を考える〕(由比ヶ浜海岸の海の家「音霊 OTODAMA SEA STUDIO トークショー」)

由比ガ浜海水浴場がアジア初で取得した国際環境認証「ブルーフラッグ」について、片山副理事長及び会員である由比ガ浜茶亭組合の増田元秀組合長が「取得をきっかけに、海を良くしようという活動を継続していくことが大切」という趣旨でパネルディスカッションを行った。

(片山副理事長、増田由比ガ浜茶亭組合長、平成28年7月5日)

・〔江ノリンピック・ミーティング Vol.3〕(江ノリンピックムーブメント主催)

ロンドンの「ごみゼロ」オリンピックを学ぶセミナーで、パネラーとしてブルーフラッグの海岸の環境保全を通じたごみに関する基準などについてスピーチを行った。

(片山副理事長、増田由比ガ浜茶亭組合長、平成28年7月5日)



⑥ その他法人運営に関する活動

ア 法人運営活動

ブルーフラッグ取得に関する広報活動として、主に鎌倉由比ガ浜海水浴場のブルーフラッグ取得について、ホームページ、F B等で積極的に発信した。また、由比ガ浜海水浴場の海開きにゲスト参加した。

広報媒体、新規会員や協賛企業を募るためのツールとしてHP情報の更新を行った。

NPO向けのパソコン機器助成を受けることができ、プレゼンテーション、モバイルでの打ち合わせ、会議、事務局強化等の目的で活用した。

【支出額】 27,587円

イ その他事務管理

法人として必要な事務管理経費として次のとおり支出した。

- ・会議室、会議に関わる資料印刷代
- ・会議、セミナー用備品購入、通信費、輸送費等
- ・名刺作成費、大学用事務用品等

【支出額】 30,272円

ウ 理事長活動費等

対外的な広報宣伝活動の一環とした理事長、副理事長が活発に活動した。

(湘南地域の海岸に関する国際認証基準の取得及び普及促進事業及び湘南大学事業参照)

【支出額】 0円

